

2030年ビジョン

Change the Future

～技術と創造力で新時代に新価値を提供します～

2021年度 ▶ 2023年度 中期経営方針

グループの総合力で新価値を創造する

製造・管理 収支構造の変革(闘える身体作り)

開発 収益構造の転換(闘い方の変革)

販売 収益源泉の多様化の構築

株主の皆様へ



代表取締役 社長執行役員
金森 俊幸



代表取締役 副社長執行役員
田中 英一郎

平素より株主・投資家の皆様におかれましては、当社の事業運営に格別のご支援を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。

さて、第71期の中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

第71期上半期を振り返って

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く環境は、昨年から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界経済の悪化が、ワクチンの普及により、米国をはじめ各国回復傾向となつてはいるものの、新たな変異株発生による感染再拡大等の懸念材料により、先行き不透明な状況が続いております。その影響から、取引先である自動車業界は、景気回復傾向により全世界において販売台数は増加したものの、半導体不足等による顧客

における生産調整等も重なり、新型コロナウイルス感染症拡大以前までの回復には至りませんでした。

このような状況の中、当社におきましては改めて社員一丸となり、重点方針の推進を進めてまいりました。

今後に向けて

このような変化に対し、生産技術・開発領域では技術ノウハウの外販と電動化分野を中心に新分野への展開を、量産領域においては徹底したローコストオペレーションの実現を図ってまいります。このようにそれぞれの軸における方針を推進し、「収支構造の変革」および「収益構造の転換」を図ってまいります。また、販売領域ではシェアリングを見据えた「収益源泉の多様化の構築」を重点方針に掲げ、グループ一丸となって強力に推進してまいります。

その対応の基本的な方向性を下記の通り明確化しました。

- 1) 高効率モーターの要素技術およびその製造技術の開発と収益化
- 2) 合理化のためのAI技術、IoT技術およびこれらを活用した自動化設備の開発と販売
- 3) 既存アルミダイカスト技術の進化とその技術を活用した軽量化部品の開発
- 4) 上記アルミダイカスト製品の販路拡大
- 5) 自動車部品製造の徹底した合理化と固定費の削減(既存事業領域)

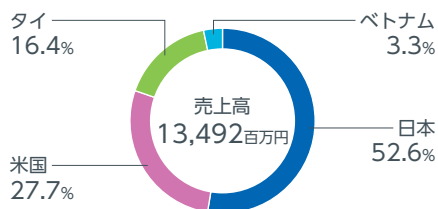
株主の皆様には、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

(単位：百万円)

	第68期		第69期		第70期		第71期	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期(見込み)
売上高	19,496	38,115	17,044	32,004	10,868	26,041	13,492	29,600
営業利益	712	1,440	393	△320	△1,045	△239	550	1,400
経常利益	815	1,652	493	△162	△992	△197	639	1,500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	425	484	198	△670	△801	△571	13	500

第2四半期累計セグメント別業績



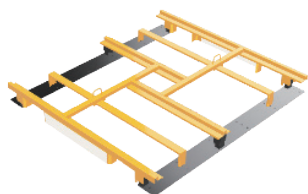
(単位：百万円)

	日本	米国	タイ	ベトナム
売上高	7,101	3,741	2,207	441
セグメント利益	520	△195	105	82

“載せ替えない”新発想「TRAPALLE(トラパレ)」 2021年度グッドデザイン賞受賞

この度、当社が企画設計を進めておりました載せ替え不要のパレット、「TRAPALLE(以下、トラパレ)」が2021年度グッドデザイン賞(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしました。トラパレは、荷物を載せた平台車を4つ挿入(写真②)するだけで、そのままフォークリフト移動やトラック運搬(写真④)ができるパレットです。今まで台車に載った製品をパレットへ1つずつ載せ替えていましたが、本製品を使うことにより、これまで行っていた日々の作業のムダや身体的負担を軽減することができます。

当社は、このトラパレを私達と同じ課題を持つ多くの方々にお伝えし使用していただくことによって、人にやさしい職場づくりに貢献していきたいと考えております。今後、2021年中に製造業だけでなく物流業界等、幅広い方々に向けて販売を開始いたします。



TRAPALLE(トラパレ)

> 使い方



挿入する



まとめる



運ぶ

次世代型電動車椅子取り扱い発表・試乗会開催

当社子会社の株式会社ホンダ自販タナカは、2021年7月22日に次世代型電動車椅子「WHILL Model C2 (ウィル モデル シーツー)」の取り扱い発表・試乗会を行いました。



会場で試乗する(株)ホンダ自販タナカ 浅生社長

取り扱いを開始するに至ったのは、自動車が交通インフラの重要な柱となっている富山県において、運転免許返納後も自由に快適な移動ができるモビリティを提案したいという思いがあったためです。

発表以降、月1台ペースでご注文をお受けしており、レンタルの稼働率は80%以上にのぼるなど、県内のお客様から大変ご好評をいただいております。

ハンドリフト型自動搬送装置の開発

当社子会社の株式会社タナカエンジニアリングは、「ハンドリフト型自動搬送装置」を開発いたしました。



ハンドリフト型自動搬送装置

従来の搬送装置は床面に設置したレールや磁気テープなどのガイドに沿って動くものが一般的でしたが、本製品はコンピュータに走行地図を登録するだけで、センサーが自己位置を推定し自動で走行します。これにより、ガイド設置費用や走行ルート変更における工数の大幅な削減を実現いたしました。

2021年10月26日～28日には、ポートメッセなごやにて開催された展示会「ロボテックス」に出展し、200名以上もの来場者の方々から販売開始に対する期待のお言葉をいただきました。

販売開始は2022年春を予定しております。今後もより多くの方々に興味をもっていただけるよう、積極的な営業活動を行ってまいります。

会社データ (2021年9月30日現在)

会社概要

商号 田中精密工業株式会社
 (英文社名) TANAKA SEIMITSU KOGYO CO., LTD.
 創業 1948年3月1日
 設立 1951年3月12日
 資本金 5億19万円
 従業員数 673名(連結:1,814名)
 事業内容 自動車部品製造販売
 主要販売先 本田技研工業株式会社、アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社、マツダ株式会社、川崎重工株式会社、株式会社アイシン、スズキ株式会社、ヤマハ発動機株式会社他

株式の状況

発行可能株式総数 32,640,000株
 発行済株式の総数 9,763,600株
 株主数 4,950名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	2,376	24.34
田中共進会持株会	1,037	10.62
田中一郎	585	5.99
田中龍郎	529	5.42
名古屋中小企業投資育成株式会社	527	5.40
株式会社商工組合中央金庫	350	3.59
株式会社北陸銀行	310	3.18
田中精密工業従業員持株会	272	2.79
株式会社富山第一銀行	270	2.77
株式会社三菱UFJ銀行	160	1.64

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL (<http://www.tanasei.co.jp>)



TANAKA 田中精密工業株式会社

〒930-0996 富山県富山市新庄本町二丁目7番10号
 TEL: 076-469-9107(代表) FAX: 076-469-6422